

単 位 数	教 科 担 当 者	使用教科書・補助教材・その他
4	木島 克彦 村貫 真佐邦	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B 受験編 チャート基礎からの数学Ⅰ+A, Ⅱ+B 以上 数研出版
必 履 修 学校必履修 ○必修選択 ○自由選択		共通テスト直前実践問題集 数学Ⅰ・A, Ⅱ・B (Learn-S)

◆学習の目標

数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Cの内容を深く理解し、問題演習をすることにより、国公立大の2次試験及び私立大の記述試験に対応できる能力を養う。

◆主な学習内容・方法

- (1) クリアーを使用した入試問題演習を学習の中心とする。
- (2) 必要に応じて、チャート式(参考書)やオリジナル教材を使用して、難関校の問題に対応したレベルの演習を行う。
- (3) 2学期後半は、共通テスト対策演習と入試問題発展演習を行い、難関国公立入試対策演習を総合的に行う。
- (4) 平行して共通テスト対策問題集を利用し、徹底的な演習をする。
- (5) 3学期は、大学別の国立2次試験対策の問題を用意して解説及び添削指導を行う。

◆到達目標と観点別評価の評価規準

数学的な見方や考え方、論理的な思考力・判断力が身に付いているかを、次の観点で見ることで評価する。

〔観点別評価の評価規準〕

○知識・技能

基本的な概念や原理を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理する技能を身に付けることができる。

○思考・判断・表現

問題を数学的に考察して解決に至ったり、解法の過程や結果を多角的に考察する力を養い、思考の過程を振り返りながら発展的に考え、解法を見つけていくことができる。

○主体的に学習に取り組む態度

数学の良さを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり改善しようとする態度や積極的に数学を利用しようとする姿勢を見ることができる。

◆年間予定授業時間

予定時数	140時間	1学期 (52時間)	2学期 (56時間)	3学期 (32時間)
------	-------	------------	------------	------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- (1) 予習・復習・課題理解の習慣を身に付ける。前もって課題の問題を解き、予習する。授業で解法を理解し、別解や解法のポイントを理解する。
- (2) 問題を解くポイントを習得し、細かい点も含めて、記述解答を丁寧に作るよう心がける。
- (3) 解けなかった問題は解答解説等で理解した後に再度自分の力で解き、実力の定着を目指す。
- (4) なぜその解法を用いるのか、なぜそのような考え方をするのか等、常に「なぜ」を追求する。

◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	学習到達目標
1 学期	4	○数学Ⅰ	1 2	クリア数学演習を用いて標準的な入試問題を中心に記述形式の解答作成の演習を行う。	たとえ苦手な単元であっても、標準的な問題、典型的な問題は確実に解けるようにする。 問題文から条件等の問題解決に必要な公式や定定を見極めることができる。 限られた時間の中で効率よく計算するために、式の特徴を活かして変形するなどの定石の計算手法を使えるようにする。
	5	○数学A	8	数と式 2次関数 図形と計量 データの分析 場合の数と確率 図形の性質 数学と人間の活動	
	6	○数学Ⅱ	1 5	式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数 対数関数 微分法 積分法 数列	
	7	○数学B	1 0	確率分布と統計的な推測	
2 学期	8	○数学C	7	ベクトル	これまでの知識を生かし複数の分野が融合された問題にも対応活用できるようにする。 答案も論理的で丁寧な解答を書くことができる。
	9	ク リ アー 数学 演 習 Ⅰ ・ Ⅱ ・ A ・ B 受験編	5 6	それぞれの単元の復習を行いながら発展的な融合問題を扱う。	
	10	サクシード数学C チャート基礎からの数学		共通テスト対策演習	
	11	Ⅰ + A, Ⅱ + B C			
	12				
3 学期	1	国立個別試験 問題演習	3 2	難関国立大学の入試演習	志望する国立大学の合格目標点に到達できるための解答と戦略を立てることができる。
	2				
	3				